



金木犀(きんもくせい)
花言葉…謙遜、陶醉、初恋など

9月下旬か10月上旬頃のある日突然、金木犀の香りが始まる♪(それは年によって9月28日だったり、10月3日とかだったりする。それまで匂わなかったのにどの花も一斉に匂い出す。不思議♪)咲いているあいだじゅう強い香りを放つ。中国南部の桂林地方原産。中国語では“桂”は木犀のことを指し、「桂林」という地名にも、木犀がたくさんあることに由来するらしい。金木犀の中国名は「丹桂」。

花のお便り

2014.10 No.100

E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

先月幼少の頃お世話になった、長野の叔父・叔母の墓参りにいってきました。今年は全国的に気候が安定しなかったが、長野の北信はなぜか天候に恵まれ、黄金色に染まった稲穂がたわわに実っていました。久しぶりの墓参りは、多くの墓が新しくなったこともあり、うろうろする始末。稲穂をわたる秋風は、都会とは違い生きている実感が伴うさわやかさで、久しぶりに充実した日を過ごしました。おまけに尋ねた親戚でお土産をどっさりもらい感謝感謝でした。



「花のおたより」100号となりました。

2006年3月より毎月書き続けてきた「花のおたより」が100号となりました。これも読者の皆様の励ましや喜びの声があったからで、この場を借りて感謝の言葉を申し上げます。ありがとうございました。スポーツ選手が目標に到達した時に「これは単に通過点です」なんて言っていますが、一度真似てみたいものです。しかし嬉しい反面これから続けるのもしんどいな、が実感です。皆様のこれまで以上の激励と期待の言葉が力の源となりますのでよろしくお願ひいたします。紙面の内容も年々変化してきましたが、印刷の情報、季節の花の情報、印刷の疑問、見て得する情報、気まぐれエッセイでは私的な趣味・ボランティア・日常の出来事・町の情報などを正に気ままに書いてきました。読者の方々には気に障る内容もあったことと思いますが、そこは暖かく見守ってください。近頃は会社の前にあるラックから花のおたよりを持っていかれる方も増え、印刷する部数も月ごとに増加するという、不思議な現象も起きており、なんとも嬉しい限りです。私の今の素直な気持ちは、やや生甲斐にもなってきた感じもあります。誰にも制限されない「花のおたより」は、これからも少しずつ変化することと思いますが、未永く続けていければと考えておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。



疑問に答えます。⑨ 小部数でも印刷できますか

孫や趣味の写真を入れた、カレンダーやポスターを1・2枚との注文もあります。さらに1枚ごとに写真や名前や番号を入れ替えて、カード・卒業証書の印刷も出来ます。レストランがお客さまの誕生日に1枚毎に日付や名前を変えて印刷するハガキなども得意分野です。オフセット印刷では出来なかったものが、オンデマンド印刷機の出現によって、お客さまのニーズに合った印刷物の作成が可能となりました。印刷仕上がりもオフセット印刷を凌駕する程で、PP加工やパウチ加工をすると、さらにキレイな仕上がりとなります。ご自分でパソコンで作成したデータからも作成可能です。ご相談いただければ親切にお応えいたします。



気まぐれエッセイ

山の遭難に思う

先日も穂高や鹿島槍で3名の尊い命が失われた。尾根道の岩場からの滑落とのことだ。自然相手の山登りは、経験の多い少ないに関わらず、登山者全員にその脅威は平等だ。だからこそどんな時でもこの先はどんな状況が待ち構えているか、との考えを巡らさなければならぬ。近頃の登山ブームは喜ばしいことで、高齢者のみならず若年層にも広がり「山ガール」などの愛称も出来た。都会の喧噪を逃れ、清涼な空気をいた

だき、どこまでも広がる山々の景色を独り占めできる経験は格別だ。息も上がり、苦難の道のりの果てに辿り着いた頂上の感激は、山登りをする人のみが実感できるご褒美である。楽しい山登りは無事下山してこそ味わえるが、そのことを実践するにはやはりルールが存在する。この紙面では字数の制限があり書くことは出来ないが、十分な準備をしても山では遭難することもある。しかしその準備で助かることもあることも明白だ。